

# 地域トピックス

～地区センターからの話題をお届けします～

## ◆花を描き笑顔も満開 —小友町—

シニアちぎり絵サークルの活動は、2月から3月にかけて小友地区センターで行われました。この活動は、同センターで開催したちぎり絵教室参加者の呼び掛けにより行われたもの。21人の参加者は、はさみで切ったり手でちぎったりした和紙を色合いを見ながら貼り合わせ、花を描いた3つの作品を完成させました。佐藤初江さんは「予想以上の出来栄で満足です」と笑顔を見せました。



黙々とちぎり絵の制作に励む参加者の皆さん

## ◆災害時の強い味方に —青笹町—

青笹町民生児童委員協議会(菊池貞子会長)は、災害時の安否確認や非難誘導に役立てようと「防災福祉マップ」を作成しました。地図には行政区ごとに、高齢者の一人暮らし世帯に赤、二人暮らし世帯に青のシールで印を付けたほか、消火栓の位置を表示しました。菊池会長は「災害時に一人も見逃さないために、活用してほしい」と話していました。この地図は今後、町内の行政区長や消防団などに配布される予定です。



一つ一つ丁寧に印を付けマップを作成する会員



生徒が販売する遠野産品を求めてにぎわう店内(青笹中提供)

## 都会に売り込め遠野の魅力 青中生徒が都内で販売体験

青笹中(昆芳男校長、生徒74人)の3年生21人は4月9日、キャリア教育の一環として修学旅行先の東京都内で「販売体験」を行いました。生徒は2班に分かれ、銀座の「いわて銀河プラザ」と吉祥寺のアンテナショップ「麦わら帽子」で特産品を販売。自ら作成した看板やパンフレットを手に店頭で宣伝をしたり、お客さまに商品や遠野の観光地を説明したりして、遠野の魅力をPRしました。実行副委員長の菊池真実さんは「なじみのない場所での売り込みは大変でしたが、進路を考える上で貴重な体験になりました」と話していました。



ダイナミックな技で観客を魅了するトゥリトネスのメンバー

## ダイナミックな演技に喝采 トゥリトネスWB 遠野公演

全国を舞台に水中パフォーマンスを繰り広げる「トゥリトネス」遠野公演(遠野施設管理サービス主催)は3月28日、市民プールで行われました。同プールのリニューアル記念イベントとして催されたこの公演には、市内外から300人が来場。軽快な音楽に合わせて繰り出す8人の迫力ある水上宙返りやコミカルな演技に、会場は終始沸いていました。家族で訪れた大石知広さん=土淵町=は「映画で見たことはありますが、生で見る迫力は全然違いますね」と目を輝かせながら、盛んに拍手を送っていました。



笛吹峠の道路脇斜面に捨てられたごみを拾い集める参加者

## 力を合わせ地域の美観を守る 地域住民や企業が環境整備

青笹町のオサガ岩手事業所(長田豊社長)の社員や地域住民ら123人は4月18日、笛吹峠の清掃活動を行いました。参加者は4班に分かれて沿道のごみ拾いや、道路脇の斜面に捨てられた粗大ごみなどをクレーンを使い回収。長田社長は「遠野の自然は大きな魅力。こうした活動が、もっと多くの人たちに広がってほしい」と話していました。

材木町のグラウンドゴルフ同好会(太田武会長)の会員13人は4月5日、早瀬川河川敷にあるグラウンドゴルフ場の枝切りやごみ拾いなどの環境整備活動を行いました。太田会長は「年々利用者が増えている。多くの人に気持ち良く利用してもらいたい」と話していました。



軽トラックにいっぱいの枝を集めた愛好者

## 優雅な演奏で遠野市を応援 室内楽チャリティー演奏会

室内楽チャリティー演奏会in遠野は3月22日、あえりあ遠野で行われ、訪れた120人が優雅なクラシック音楽を楽しみました。演奏会は、盛岡市の関ピアノ教室(関朝子代表)が毎年出演している遠野ハートフルステージへの感謝と「ふるさと遠野応援寄附金」への協力を兼ねて企画。関さんの娘の純子さんがピアノを、純子さんと音楽活動を行う野村祥子さんと小倉深さんがバイオリンとチェロを演奏し、テレビなどでおなじみの6曲を披露。ゆったりと柔らかな音色を情感たっぷりに奏でると、場内からはたくさんの拍手が送られました。



豊かな音色で聴衆を魅了する3人の奏者と関代表

## 新社会人40人が決意新たに 新社会人迎えつどいを開催

「新しい勤労青少年のつどい」は4月24日、あえりあ遠野で行われ、市内の事業所にこの春就職した新社会人の門出を祝いました。同つどいは、市、遠野商工会、釜石公共職業安定所などが主催。新社会人を代表して働くココストアの内竹真幸さんが「これから先、大きな困難に直面しても、目標を見失うことなく日々努力していきたい」と誓いの言葉を述べました。また「新入社員スタートアップセミナー」と題して研修会も行われ、参加者はあいさつの仕方や名刺の受け渡しなど、仕事をする上での基本を学んでいました。



社会人生活に決意を新たにしている参加者